

『アタマ』で行う 防災訓練

皆さんは『防災訓練』と聞いて、どのような訓練を思い浮かべますか。訓練は実際に行動を伴う『実働訓練』と地図を使って行う『図上訓練』の大きく2つに分けられます。実働訓練には、避難訓練、通信訓練、消火訓練などがあり、町ではそれらを併せて年1回、総合防災訓練として行っています。

図上訓練には、『DIG』や『HUG』と呼ばれる訓練があります。

DIGは、Disaster(災害)、Imagination(想像力)、Game(ゲーム)の頭文字を取ったもので、『災害図上訓練』とも呼ばれます。グループを作り、地図の上で津波来襲や土砂崩れなどの災害を想定しながら、避難する通路上に支障がないか、逃げるのに支援が必要

な人がいないかといった点をグループ内で話し合います。『気づき』や『コミユニケーション』の機



【災害図上訓練の様子】

会を提供するものです。

HUGは、Hinanjyo(避難所)、Unei(運営)、Game(ゲーム)の頭文字を取ったもので、『避難所をどのように運営するか考える訓練』となっています。災害時の避難所運営は、主に地域住民の皆さんが主体となるため、避難所運営の際に起こる事案を想定していく訓練です。

厚岸町では平成25年に2回、平成26年に1回、自主防災組織や自治会でDIGを開催しました。町では、今後も訓練の支援を行っていきますので、訓練をやってみたい場合は、お気軽にお問い合わせください。

●問い合わせ／危機対策係 ☎ 223・224



【問い合わせ】

厚岸消防署 予防広報係
厚岸町松葉4丁目1番地
☎52-5111

平成27年各種出動件数

【平成27年3月31日現在】

・火災発生件数	1件
・救急出動	96件
・救助出動	1件
・ドクターヘリ出動	2件



火災を未然に防ぎましょう！

火災の原因は人為的ミスから…

『ゴミ焼き』は やめましょう！

この季節は空気が乾燥し、ほんの小さな火からでも火災が発生しやすい季節です。

「天気が良いから…」「風が無いから…」「少しだから…」と、ゴミなどを燃やすのは、絶対にやめましょう。

特に、「ゴミ焼き」が原因の火災は、厚岸町内や近隣の市町村でも多く発生しています。

自宅の敷地内やあき地などでゴミを燃やすと周囲の建物や枯草に燃え広がり、大切な財産を失う危険があります。また、ゴミ焼きは法律で規制され、罰金を科されることもありますので、絶対にやめましょう。

